

日本人の約1割が予防接種を躊躇している可能性

—大規模インターネット調査：JASTIS2023データの解析結果—

【概要】

- 2023年2月に実施された大規模インターネット調査：JASTIS2023(参加者約3万人)のデータを用いて、日本人の予防接種に対する考え方とそのパターンを明らかにしました。
- 全体として、接種証明書やワクチンパスポートなど接種状況の社会的監視に対する支持は非常に低くこれらの仕組みが現状では効果的ではない可能性が示唆されました。
- 日本人の予防接種に対する考え方は6つのパターン(クラスター)に分類できることが明らかになりました。
- 6つのクラスターのうち、予防接種に対して非常にネガティブな考えを持っているクラスター6は全体の11.1%を占めていました。また、このクラスターは30代・40代に多いことが明らかになりました。
- 日本人のうち約1割が予防接種全般に対して非常にネガティブな考えを持っており、これらの人々が予防接種全般を躊躇(拒否)することが懸念されます。麻しん・風しんワクチンの目標接種率が95%であることを踏まえるとこの割合は軽視できないものであると考えられます。

東京医科大学公衆衛生学分野の町田征己らは、日本人の予防接種全般に対する考えとそのパターンを明らかにするために、2023年2月に実施された大規模インターネット調査：JASTIS2023(参加者約3万人)のデータを用いて研究を行いました。その研究成果が2023年10月31日に国際医学雑誌 Japanese Journal of Infectious Diseases オンライン版で発表されました。

【研究内容の要約】

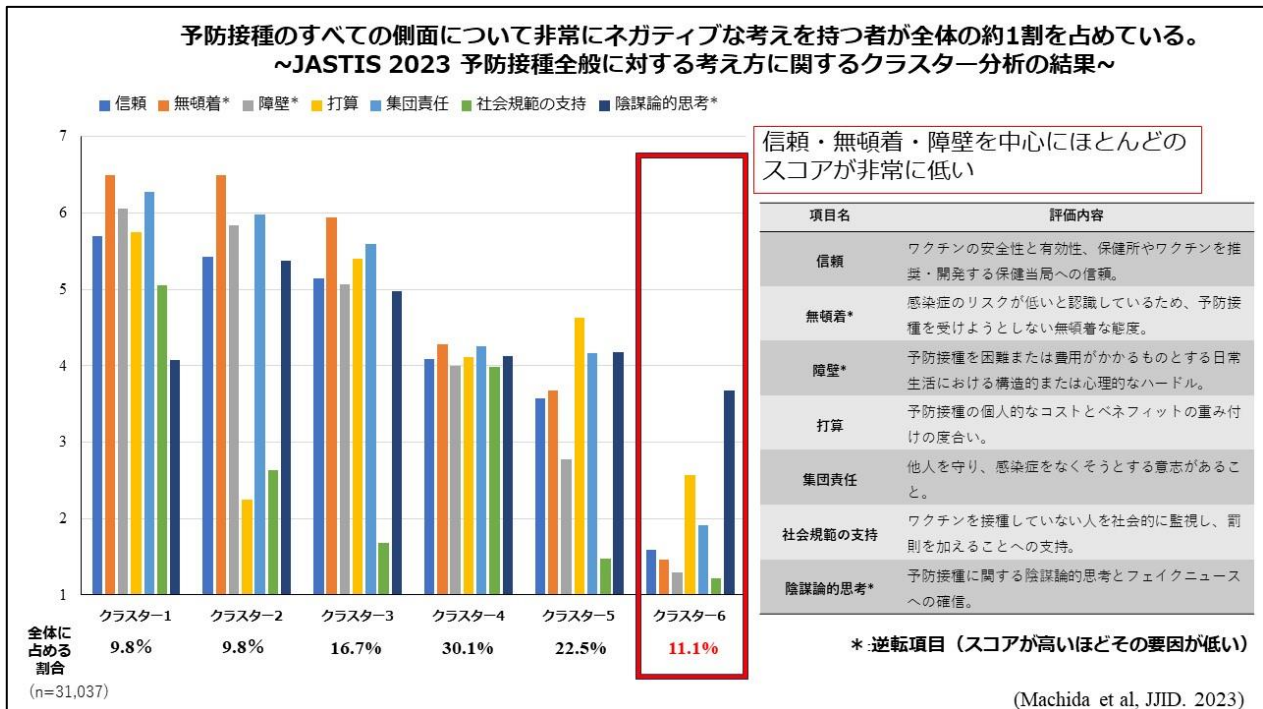
近年、新型コロナワクチンや麻しん風しん混合ワクチン、HPVワクチン、肺炎球菌ワクチンなど様々なワクチンの接種率の低下や伸び悩みが問題となっています。ワクチンに関する考え方や懸念事項はワクチンの種類によっても異なってきますが、広く予防接種の普及啓発を検討する上では、予防接種全般に関する市民の考えを明らかにすることも重要です。しかし、日本人の予防接種全般に関する考え方を明らかにした研究は乏しい状況です。そこで本研究は、日本人の予防接種に関する考えのパターンを明らかにすることを目的としました。

本記述疫学研究は2023年2月に実施されたJASTIS 2023(対象者約3万人)の調査結果を用いて実施しました。予防接種に関する考えや受容性(レディネス)を測定する質問票：予防接種レディネス尺度：7C short版¹を用いて、予防接種レディネスを構成する7つの心理的要因(①信頼、②無頓着、③障壁、④打算、⑤集団責任、⑥社会規範の支持、⑦陰謀論

的思考)をリッカート尺度(7件法)で評価し、心理的要因毎にスコア化しました。心理的要因の各スコアを用いて k-means++法によるクラスター分析を行い、傾向スコアを用いた逆確率重み付け法を用いて補正したクラスター毎の割合を算出しました。

その結果、7C short 版の記述統計では、⑥社会規範の支持が非常に低いことが明らかになりました。これは、日本人においては接種証明書など接種状況の社会的監視に対する支持は非常に低いことを意味しており、これらの仕組みが日本では現状、効果的ではない可能性が示唆されました。また、クラスター分析の結果、日本人の予防接種への考えや受容性(レディネス)には6つのパターン(クラスター)があることが明らかになりました。クラスター1・2は項目毎の違いあるものの、全体的としてはスコアが高く接種意向が高い集団でした。また、クラスター3・4・5も同様に、項目毎の差はあるものの中立的な接種意向をもつクラスター群でした。一方、クラスター6は他のクラスターと比較してほとんどのスコアが極めて低く、予防接種全般を躊躇(拒否)することが懸念される集団でした。このクラスターは全体の11.1%を占めており、男女共に30・40歳代に多い傾向がありました(13.1-16.4%)。

予防接種は多くの人々が接種をすることによって個人免疫だけではなく集団免疫による効果を発揮します。例えば、麻しん・風しんの集団免疫のためには95%以上の人々が予防接種を打つことが目標とされています。しかし、本研究結果はこの接種率を維持することが今後困難になる可能性を示しています。今回の研究では接種証明書などの制度が現状の日本では効果的ではない可能性が明らかになりましたが、今後有効な対策の検証・実施が急務と考えられます。



図：本研究結果の概要

【論文情報】

掲載紙：Japanese Journal of Infectious Diseases

論文名：General vaccination readiness in Japan: Results from the JASTIS 2023 study

著者名：Masaki Machida, Shigeru Inoue, and Takahiro Tabuchi

DOI：https://doi.org/10.7883/yoken.JJID.2023.261 （査読済み）

【参考文献】

1. Geiger M, Rees F, Lilleholt L, Santana AP, Zettler I, Wilhelm O, et al. Measuring the 7Cs of vaccination readiness. *Eur J Psychol Assess* 2022;38:261–9.

【問い合わせ先】

東京医科大学 公衆衛生学分野 町田 征己、井上 茂
E-mail: tmuphic.2020@gmail.com